



# 青森農研フラッシュ

(地独)青森県産業技術センター・農林部門

研究成果

## 夏秋トマトの新しい仕立て方 「Uターン + 4段摘心栽培」

農林総合研究所

夏秋トマト栽培において通常のUターン栽培をする茎に加え、もう1本茎を伸ばして4段摘心栽培する2本仕立てにより、Uターン栽培の収量の減少を補うことができる「Uターン+4段摘心栽培」技術を紹介します。

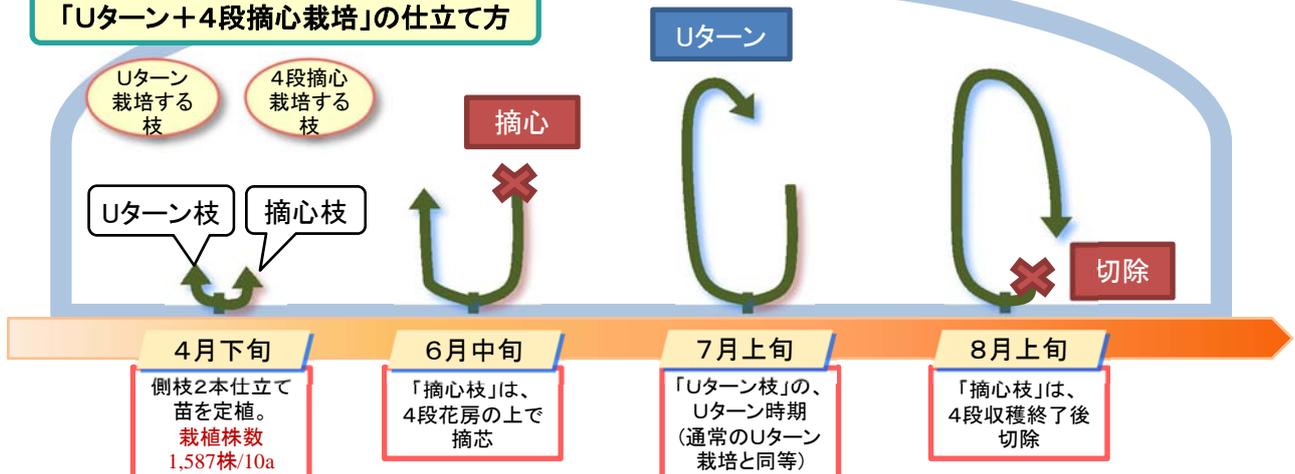
### 背景

#### 「Uターン栽培」 特徴と課題

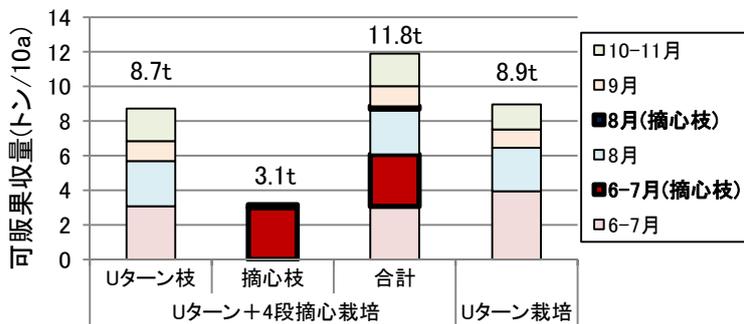
- ▼ Uターン栽培は、非常に重労働な「つる下ろし」と呼ばれる誘引作業をする必要がなく、軽労化技術としてトマト農家の期待が非常に大きい仕立て方です。
- ▽ しかし、Uターン後の茎が通路にはみ出してくるため、作業性を考慮すると通路の幅を広くする必要があります。
- ▼ このため植え付け出来る株数が少なくなり、その分収量が減少することが課題でした。

### 仕立て方

#### 「Uターン+4段摘心栽培」の仕立て方



### 収量の比較



#### 「Uターン+4段摘心栽培」とUターン栽培の収量

- ◆Uターン+4段摘心栽培: Uターン枝8.7トン+摘心枝3.1トン=11.8トン/10a
- ◇通常のUターン栽培: 8.9トン/10a

#### 収穫作業の様子



### お問い合わせ

農林総合研究所 施設園芸部  
(TEL0172-52-2510)

あおもりの未来、  
技術でサポート

青森  
産技